

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 10 月 21 日

## 【評価実施概要】

|       |                   |                   |                   |
|-------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 事業所番号 | 3871400267        |                   |                   |
| 法人名   | 株式会社 新風会          |                   |                   |
| 事業所名  | グループホーム 蒼月        |                   |                   |
| 所在地   | 西予市宇和町岡山545番地     | (電話) 0894-66-0234 |                   |
| 管理者   | 浮村 祐政             |                   |                   |
| 評価機関名 | 愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班 |                   |                   |
| 所在地   | 松山市持田町三丁目8-15     |                   |                   |
| 訪問調査日 | 平成 20 年 9 月 17 日  | 評価確定日             | 平成 20 年 10 月 21 日 |

【情報提供票より】 (平成 20 年 8 月 18 日事業所記入)

### (1) 組織概要

|       |                   |                               |      |
|-------|-------------------|-------------------------------|------|
| 開設年月日 | 平成 17 年 12 月 26 日 |                               |      |
| ユニット数 | 2 ユニット            | 利用定員数計                        | 18 人 |
| 職員数   | 15 人              | 常勤 11 人, 非常勤 4 人, 常勤換算 12.4 人 |      |

### (2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |              |                |          |
|---------------------|--------------|----------------|----------|
| 家賃(平均月額)            | 25,000 円     | その他の経費(月額)     | 6,000 円  |
| 敷金                  | 有( )円 ○ 無    |                |          |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有( )円<br>○ 無 | 有りの場合<br>償却の有無 |          |
| 食材料費                | 朝食           | 140 円          | 昼食 350 円 |
|                     | 夕食           | 350 円          | おやつ 円    |
|                     | または1日当たり 円   |                |          |

### (3) 利用者の概要 (平成 20 年 8 月 18 日事業所記入)

|       |         |         |         |
|-------|---------|---------|---------|
| 利用者人数 | 18 名    | 男性 9 名  | 女性 9 名  |
| 要介護 1 | 3 名     | 要介護 2   | 4 名     |
| 要介護 3 | 8 名     | 要介護 4   | 3 名     |
| 要介護 5 | 名       | 要支援 2   | 名       |
| 年齢    | 平均 83 歳 | 最低 57 歳 | 最高 98 歳 |

### (4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

|    |    |                    |
|----|----|--------------------|
| 指定 | あり | 指定介護予防認知症対応型共同生活介護 |
| 指定 | なし | 指定認知症対応型通所介護       |
| 届出 | なし | 短期利用型共同生活介護        |
| 加算 | あり | 医療連携体制加算           |

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

田園風景の中に建つ3階建ての洋館風の建物で、その2階、3階がホームとなっており、1階にはデイサービスがある。運営法人代表は医療機関も経営しており、法人として多くのグループホームホーム、デイサービスを運営し、特に利用者への細やかな健康管理は心強い。また、職員は各利用者の思いを大切にケアを心がけ、公民館の趣味の会への参加を勧める等、毎日の生活を仲良く、楽しく過ごせるよう支援している。地元の運動会、文化祭、公民館活動に参加したり、近くのホームや高齢者施設と合同での納涼祭で交流を図る等、地域との付き合いにも努めている。

## 【質向上への取組状況】

### ▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

前回の評価後、地域とのさらなる交流に努め、家族への金銭管理の報告方法を工夫し、食事や栄養バランスのチェックの検討を始め、災害時の地域の協力を働きかける等の改善に取り組んでいる。

### ▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

運営者、管理者、職員は評価の意義を理解した上で、全員で自己評価に取り組んでいる。職員は、自己評価が日々のケアの振り返りになっていると感じている。

### ▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

会議ではホームの実情、行事、課題、外部評価等について報告し、それらに対する質問、意見を出してもらっている。出席者からの意見や、地域・公民館活動の情報等をホームのサービス向上に活かしている。

### ▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

家族の意見や希望は、家族の来訪時、家族会の開催時、「利用者、家族相談ノート」等で把握し、ホームの運営に反映させている。苦情相談窓口は内部と外部に分けて文書に明記し、家族にも説明している。

### ▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

ホーム及び利用者は地域の運動会や文化祭に参加したり、公民館で本を借りたり、習字教室に通う等、地域との交流に努めている。別法人の近隣ホームや高齢者施設と合同の納涼祭が地域の好評を得ている。また、散歩で近所の方と挨拶を交わしたり、野菜を届けてくれる等の関係ができています。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目  
(評価項目の構成)

## I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

## II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

## III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

## IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

## V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー  
“愛媛県地域密着型サービス評価”

## 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
  - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
  - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

## ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム蒼月

(ユニット名)

第1ユニット

記入者(管理者)

氏名

浮村 祐政

評価完了日

平成 20 年 8 月 18 日

(別表第1)

## 自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

| 自己評価               | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)     |
|--------------------|------|---|--|----------------------------|--|
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |      |   |  |                            |  |
| <b>1. 理念と共有</b>    |      |   |  |                            |  |
| 1                  | 1    | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている      | (自己評価)<br>その人の持っているものを最大限に活かせるよう、目標を定めている。その目標に沿って、個人の年間目標も作っている。  | ※                          | 理念が常に意識できるよう、定期的に話し合う場を作っていく。              |
|                    |      |   | (外部評価)<br>運営法人の運営理念を念頭に、職員が話し合っってつくりあげた分かりやすい理念がある。この理念を年間目標として具体化し、理念とともにホーム内に掲げ、日々の支援に繋げている。しかし、地域密着型サービスとしての視点が明確に伝わりにくい。   | ※                          | 地域密着型サービスの意義や役割を反映した内容の理念となるよう、更なる検討を期待する。 |
| 2                  | 2    | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                         | (自己評価)<br>利用者が持っている力を発揮できるよう、日々の関わりの中で話し合い、試行錯誤しながら実践している。   | ※                          | 介護計画にも取り込みながら行っているが、もっと共有できるよう検討していきたい。    |
|                    |      |   | (外部評価)<br>職員会やケアカンファレンスで理念を確認・共有している。理念を具体化した年間目標「一緒に行動しながら持っている力を引き出す」を念頭に、利用者が自力で食事できるよう介助したり、トイレ誘導での排泄を支援する等、理念の実践に取り組んでいる。 |                            |  |
| 3                  |      | ○家族や地域への理念の浸透<br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | (自己評価)<br>広報での取り組みについての報告や、行事や見学等で来られた方へ説明している。  | ※                          | 運営推進会議や行事等をきっかけに、理解を深めていただけるよう努力している。      |

| 自己評価                         | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|------------------------------|------|--|---|----------------------------|---|
| <b>2. 地域との支えあい</b>           |      |  |   |                            |   |
| 4                            |      | ○隣近所とのつきあい<br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている      | (自己評価)<br>あいさつから始まり、一度来られた方がまた来ていただけるよう会話を大切にしている。  | ※                          | 職員全体で、もっとあいさつなど基本的なことから徹底していく。  |
| 5                            | 3    | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている        | (自己評価)<br>運動会や文化祭への参加を行っている。公民館へ囲碁や短歌会、習字に参加する利用者もいる。<br><br>(外部評価)<br>地域の運動会や文化祭に参加したり、本を借りたり習い事をするなど公民館活動に参加している方もおり、地域との交流に努めている。別法人の近隣ホームや高齢者施設と合同で開催する納涼祭が地域の方に好評を得ている。散歩中に出会った方と挨拶を交わしたり、近所の方が野菜を届けてくれる等の関係もできている。                    | ※                          | もっと地域の行事に参加できるようにしていく。<br><br>ホームは地域との交流に努めているが、さらに次の段階として、地域の清掃活動に参加するなど地域の一員としての役割を果たしていくことや、介護教室、認知症理解のための講演会を開くなど地域貢献としての活動に取り組んでいくことを期待する。 |
| 6                            |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | (自己評価)<br>納涼祭に参加していただき、普段と違う体験をして楽しんでもらえるようにしている。   | ※                          | 介護教室等取り組んでいきたい。   |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |      |  |   |                            |   |
| 7                            | 4    | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる          | (自己評価)<br>全職員に記入してもらい、自分ならどうするかを考えるきっかけとして活用している。できることから改善していきたい。<br><br>(外部評価)<br>運営者、管理者、職員は評価の意義を理解した上で全員で自己評価に取り組んでいる。職員は自己評価が日々のケアの振り返りになると感じている。前回の評価後、地域とのさらなる交流に努め、家族への金銭管理の報告方法を工夫し、栄養バランスのチェックの検討を始め、災害時の地域の協力を働きかける等の改善に取り組んでいる。 | ※                          | 実際に改善できている点は多くないが、改善すべき箇所は評価表によって理解が深まっている。できることから取り組んでいる。  |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                    |
|------|------|---|--|----------------------------|---|
| 8    | 5    | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている         | (自己評価)<br>意見に対する取り組みについて、できることはすぐに言い、次の会議で報告している。すぐに行えないことについては、進捗状況を伝えたり、もう一度議題として取り上げたりしている。<br><br>(外部評価)<br>会議ではホームの実情、行事、課題、外部評価等について報告し、それらに対する質問、意見を出してもらっている。出席者からの意見や、地域や公民館活動の情報等をホームのサービス向上に活かしている。 | ※                          | 構成員の方から、いつも貴重な意見を聞くことができ非常にありがたく、楽しみでもある。今後、評価についての取り組みについて一緒に考えていきたいと思う。 |
| 9    | 6    | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                          | (自己評価)<br>実践できていない。<br><br>(外部評価)<br>利用者の手続き関係で市担当課に出向いたり、権利擁護や障害者支援、ホームの課題等を担当者に相談し、サービスの質の向上に取り組んでいる。  | ※                          | 市主催の会議などにも参加できるよう努力していきたい。  |
| 10   |      | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | (自己評価)<br>全職員が理解できているとは言えない。必要と思われる方には説明している。  | ※                          | 外部への研修参加を促し、全職員が理解できるよう勉強会を行う機会を設ける。                                      |
| 11   |      | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている          | (自己評価)<br>心身ともに余裕のあるよう、勤務表作成を心がけている。勉強会などは行っていない。  | ※                          | 勉強会を行ったり、平日頃から暴力だけが虐待でないことを伝えていきたい。                                       |

| 自己評価                   | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                  |
|------------------------|------|---|--|----------------------------|---|
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |      |   |  |                            |   |
| 12                     |      | ○契約に関する説明と納得<br>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている    | (自己評価)<br>契約書に沿って事前に説明し、納得した上で利用していただけるよう努めている。利用後でも疑問点があれば、その都度説明を行っている。  | ※                          | 説明と実際に行っている内容に食い違いが生じないように、利用者や家族等からの意見を大切にしていく。        |
| 13                     |      | ○運営に関する利用者意見の反映<br>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている   | (自己評価)<br>運営推進会議で利用者から意見を聞いたり、普段から会話を持つ機会を多くとっている。   | ※                          | 不満等は利用者個々によって違うということの理解を深め、それぞれに合った適切な方法を介護計画にも反映させていく。 |
| 14                     | 7    | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | (自己評価)<br>広報での報告や、家族会、面会時等で行っている。来られない家族については自宅へお伺いして説明している。<br><br>(外部評価)<br>利用者の暮らしぶりや健康状態は家族の来訪時や家族会等で報告し、ホーム便りでも伝えている。来訪の難しい家族には、可能な場合は自宅を訪問しての報告にも対応している。金銭管理は個別の出納帳のコピーを渡し、確認印をもらっている。新規の採用職員はホーム便りでも紹介している。 |                            |   |
| 15                     | 8    | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている   | (自己評価)<br>家族会で、職員が席をはずして家族同士での要望等を出し合っただけ、記録してもらっている。要望等のノートを作成し、全職員に周知できるようにしている。<br><br>(外部評価)<br>家族の意見や希望は来訪時、家族会、「利用者、家族相談ノート」等で把握し、ホームの運営に反映させている。苦情相談窓口は内部と外部に分けて文書に明記し、家族にも説明している                           | ※                          | 周知だけでなく、全職員で検討する機会をもっと増やしていく。                           |

| 自己評価               | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|------|--|---|----------------------------|--|
| 16                 |      | ○運営に関する職員意見の反映<br>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている  | (自己評価)<br>職員会等で行っているが、一人ひとりの意見が反映できているかは疑問である。  | ※                          | 日々の業務の中でもっとコミュニケーションをとっていく。            |
| 17                 |      | ○柔軟な対応に向けた勤務調整<br>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている                      | (自己評価)<br>支障のないよう組んでおり、状況に応じて調整も行っている。  |                            |  |
| 18                 | 9    | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | (自己評価)<br>職員が代わった場合は、利用者との顔合わせに馴染みの職員が付き添い、紹介したり仲立ちとなってお互いの負担軽減に努めている。<br><br>(外部評価)<br>運営者、管理者は職員の異動や離職を最小限にするよう努めている。職員が代わる場合は重複勤務を行ったり、採用者を利用者に丁寧に紹介する等、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。 |                            |  |
| <b>5. 人材の育成と支援</b> |      |  |   |                            |  |
| 19                 | 10   | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | (自己評価)<br>外部研修会の案内と参加を促している。日々の業務の中で介助方法などを話し合いながら実践している。<br><br>(外部評価)<br>管理者及び職員は外部研修に随時参加している。また、ホーム内では職員会やケアカンファレンスの中で医療やケアに関する学習を行っている。同系列の事業所合同での勉強会も実施されている。             | ※                          | 段階に応じた育成方法の確立を目指していきたい。                |

| 自己評価                             | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|----------------------------|--|
| 20                               | 11   | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | (自己評価)<br>3施設合同の納涼祭を行った。その行事を通して意見交換などできた。その他救急講習も合同で行った。<br><br>(外部評価)<br>地域の他ホームや高齢者施設と交流の機会があり、合同で救急処置を消防署で学ぶなどネットワークづくりに努めている。 |                            |  |
| 21                               |      | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み<br>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる                                    | (自己評価)<br>余裕のある勤務表に作成や、交流会などでストレスが軽減できるよう努力している。   | ※                          | 協力し合えるよう、日々の会話などを大切にしていく。              |
| 22                               |      | ○向上心を持って働き続けるための取り組み<br>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている                        | (自己評価)<br>研修等、意欲のある職員に対して優先的に参加してもらっている。   | ※                          | 意欲を引き出せるよう、本人に合わせた研修方法等の確立を目指していく。     |
| <b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>     |      |   |  |                            |  |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |      |   |  |                            |  |
| 23                               |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている             | (自己評価)<br>事前に必ず本人と家族に会い、本人の発言やしぐさ等から思いを読み取れるよう努力している。  |                            |  |
| 24                               |      | ○初期に築く家族との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                  | (自己評価)<br>基本的にまず本人とお話した後、家族の思いを聞くようにしている。介護計画にも反映させる。  |                            |  |

| 自己評価                      | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| 25                        |      | ○初期対応の見極めと支援<br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                               | (自己評価)<br>まず、なぜこの施設を希望されたのかを聞く。その上でもし他のサービスのほうが適していると感じれば提案することもある。  |                            |  |
| 26                        | 12   | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | (自己評価)<br>家族の面会や外出等をすすめている。<br><br>(外部評価)<br>入居前の利用者にホームを見学してもらったり、職員が前もって自宅を訪問したり、入院先で話を聞く等して顔見知りになり、ホームに徐々に馴染めるよう工夫している。   |                            |  |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 |      |  |  |                            |  |
| 27                        | 13   | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                       | (自己評価)<br>できることや好きなことを一緒に行ったりする中で、教えていただくことは多いと実感している。<br><br>(外部評価)<br>職員は、利用者と共に散歩や買い物に出かけたり、畑の作物を収穫したり、近くのホームを訪問したり、レクリエーションを楽しんだりしている。また、利用者から昔の生活や地域の状況、料理法、洗濯物のたたみ方等を教わっている。 |                            | この部分を一番大切にしていきたい。                      |
| 28                        |      | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている                                 | (自己評価)<br>家族会など、利用者と一緒に過ごす時間を持っていただく機会を増やし、一緒に考えていけるよう心がけている。  |                            |  |

| 自己評価                               | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)               |
|------------------------------------|------|--|---|----------------------------|--|
| 29                                 |      | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している             | (自己評価)<br>家族会など、利用者と一緒過ごす時間を持っていただく機会を増やしている。   | ※                          | なかなか本人と会えない家族に対しては、広報や口頭で状況を伝えたりして、関係が途切れないよう配慮している。 |
| 30                                 |      | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている               | (自己評価)<br>本人の希望に沿って自宅やその周辺に出かけたりしている。親戚や知人と会い、楽しそうに会話される姿は印象的である。   | ※                          | 観光地等に出かけるのも喜ばれるが、懐かしい場所はもっと喜ばれる。家族とも相談しながら実施している。    |
| 31                                 |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている              | (自己評価)<br>職員が仲立ちとなって対応できるようにしているが、折り合いが悪いときには離れていただき、それぞれをフォローするよう心がけている。   |                            |  |
| 32                                 |      | ○関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | (自己評価)<br>面会に行ったりして様子伺いをすることもある。  |                            |  |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |   |                            |  |
| <b>1. 一人ひとりの把握</b>                 |      |  |   |                            |  |
| 33                                 | 14   | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                   | (自己評価)<br>月1回の会議や介護計画の見直し時に、職員間で話し合いをしている。希望や意向を把握し切れているとは言えないが、本人の思いを読み取ろうと努力している。<br><br>(外部評価)<br>一人ひとりの思いや希望は日頃の会話やしぐさ、様子等から把握している。落ち着かない様子の利用者をドライブに誘ったり、自宅近くを散歩することで穏やかな表情になることもある。 | ※                          | もっと様々な視点から見ていけるよう、意見の出し合いの活発化や実現方法について検討していきたい。      |

| 自己評価                                  | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|--|----------------------------|--|
| 34                                    |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                    | (自己評価)<br>利用前のある程度は聞いているが、情報は利用されてからのほうが多く、会議で出されることもあるが、記録が不十分である。  | ※                          | 本人や家族から聞いたことを記録していくようにし、把握に努めていく。      |
| 35                                    |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている  | (自己評価)<br>毎日のバイタルチェックや、申し送りによる夜間や日中の様子を把握しながら接している。介護計画に沿って本人の持っている力を引き出せるよう努力している。  |                            |  |
| <b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |      |   |  |                            |  |
| 36                                    | 15   | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | (自己評価)<br>本人が持っている力を引き出せるよう話し合いをしている。<br><br>(外部評価)<br>介護計画は、利用者や家族の思いを反映しながら職員が話し合っ作成し、家族のサインをいただいている。作成した計画は個人記録に綴じ、日々のケアとも繋げている。利用者毎に担当職員を決め、その職員が毎月評価を行っている。 | ※                          | もっと家族の意向を聞きだせるよう努力したい。                 |
| 37                                    | 16   | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | (自己評価)<br>介護計画の見直し時期及び月1回の会議で変化のある方の検討をしている。<br><br>(外部評価)<br>月1回のケアカンファレンスで介護計画をチェックし、状況に変化がなくても3～6か月に1回、見直しを行っている。また、利用者の状況に変化が生じた場合は、その都度見直している。              |                            |  |

| 自己評価                               | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|---|----------------------------|--|
| 38                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている    | (自己評価)<br>介護計画に対するもの、その他変化のあったことなどを記入するようにしている。   | ※                          | もっと利用者の言葉や行動、反応など記録できるようにしたい。          |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |      |  |   |                            |  |
| 39                                 | 17   | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている              | (自己評価)<br>状態に応じた援助方法を検討しているが、十分とは言えない。<br><br>(外部評価)<br>利用者の急な受診や外出、法事、墓参り、家族のホーム内での宿泊等、ホームは多機能性を活かした柔軟な支援を行っている。 | ※                          | 画一的でない本人に合ったものを提供できるようにしていきたい。         |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |      |  |   |                            |  |
| 40                                 |      | ○地域資源との協働<br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している             | (自己評価)<br>安心して楽しく生活できるよう、防災訓練の実施やボランティアの受け入れなどを行っている。   | ※                          | もっと幅広く資源の活用ができるよう働きかけていきたい。            |
| 41                                 |      | ○他のサービスの活用支援<br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている  | (自己評価)<br>できていない。   | ※                          | 本人がより多くの選択肢を持てるよう努力しなければならない。          |
| 42                                 |      | ○地域包括支援センターとの協働<br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | (自己評価)<br>権利擁護など相談を行っている。   | ※                          | 今後、協働して様々な面から本人を支えられるよう努力していく。         |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|------|------|--|--|----------------------------|--|
| 43   | 18   | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                          | (自己評価)<br>契約時に協力医療機関の説明をしている。希望に沿って他の医療機関にかかれる方もいる。<br><br>(外部評価)<br>利用者や家族が希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力医療機関から毎朝電話があり、利用者の状態を報告することで、一人ひとりの細やかな健康管理が行われている。                               |                            |  |
| 44   |      | ○認知症の専門医等の受診支援<br>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している                         | (自己評価)<br>協力医療機関に相談している。   |                            |  |
| 45   |      | ○看護職との協働<br>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている  | (自己評価)<br>月2回の往診時や毎日の電話でのやり取りの中で、状態報告等している。週1回医療連携で看護師に来てもらっている。   |                            |  |
| 46   |      | ○早期退院に向けた医療機関との協働<br>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | (自己評価)<br>入院時、医師とのこまめな連絡や、本人・家族と面会しながら情報交換を行っている。  | ※                          | 本人が安心できるよう、なじみの利用者とお見舞いに行くこともある。   |
| 47   | 19   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している              | (自己評価)<br>文書を作成し、方針の説明をしている。<br><br>(外部評価)<br>重度化や終末期の対応は可能であり、利用者や家族に早い時期から説明し、話し合いをしている。利用者の急変時等には1階同系列のデイサービス看護師の協力を得ることもある。看取りのマニュアルがあり、医療、看護、介護の要点をまとめているが、実際の、具体的な内容が十分とは言えない。 | ※<br><br>※                 | 本人・家族の考え方にも変化が見られる場合もあるので、その都度話し合っていきたい。<br><br>重度化や終末期における家族の利用者への関わり、職員の実際的なケア、継続的な医療処置、勤務体制、看取り上の不安等について職員で話し合いを継続し、具体的な対応への取組みを期待する。 |

| 自己評価                      | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                   |
|---------------------------|------|---|--|----------------------------|--|
| 48                        |      | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援<br>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | (自己評価)<br>協力医療機関に相談しながら行っている。  | ※                          | もっと職員間での話し合いが必要である。不安感を少しでも取り除けるようにしていきたい。               |
| 49                        |      | ○住み替え時の協働によるダメージの防止<br>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている                      | (自己評価)<br>情報提供書を作成し、説明している。移り先へ何度か足を運んで様子を伺いながら、一緒に検討することもある。  |                            |  |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |      |   |  |                            |  |
| 1. その人らしい暮らしの支援           |      |   |  |                            |  |
| (1) 一人ひとりの尊重              |      |   |  |                            |  |
| 50                        | 20   | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない  | (自己評価)<br>特に排泄時の声掛けに注意している。入浴や更衣等も個別に行っている。記録等は目に付きにくいところに保管しており、内容も他者の実名は書かないようにしている。<br><br>(外部評価)<br>小声でトイレ誘導をしたり、食事の食べこぼしをさりげなく片付ける等、対応に配慮している。記録類は個人情報保護に配慮して事務所のスチール戸棚に保管している。 | ※                          | 慣れによる言葉遣いに気をつけていかなければならない。プライバシーについて定期的に考えていく時間を設けていきたい。 |
| 51                        |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている  | (自己評価)<br>選択できるように声掛けや提示をしている。可能なことは希望があったときにできるだけ早く実施できるようにしている。  |                            |  |

| 自己評価                          | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| 52                            | 21   | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価)<br>本人の状態に応じた援助をしている。ただやはり職員の都合になっている場面も見られる。<br><br>(外部評価)<br>利用者の起床時間に合わせて身づくろいや食事の支援をしたり、自力でゆっくり食事する方を急かすことなく見守り、昼寝する方にはその環境づくりをする等、一人ひとりのペースを大切に支援している。  | ※                          | ちょっと待つという言葉が少なくなることを目指していく。            |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |      |  |  |                            |  |
| 53                            |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている            | (自己評価)<br>希望によって地域的美容店に行ったり、訪問美容を利用する方もいる。   |                            |  |
| 54                            | 22   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | (自己評価)<br>自由献立という日を設けて好みを聞いたりしている。包丁の使える方、野菜の皮なら剥ける方、味見のできる方などそれぞれに合わせて一緒に行っている。<br><br>(外部評価)<br>自力で食事できる利用者を時間がかかっても食べ終わるまで見守り、状態に合わせて刻み食にして摂取を促すなどしている。好みの漬物を持参して食事を楽しむ方もいる。利用者と職員が調理の下ごしらえ、味付け、後片付け等を一緒に行っている。 |                            |  |
| 55                            |      | ○本人の嗜好の支援<br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している            | (自己評価)<br>医師から制限されていなければ自由にしてもらっている。ただしタバコに関してはベランダや換気扇の下などでの制限は設けている。ライターも吸わない時はお預かりしている。   | ※                          | 喫茶店など外食は喜ばれるため勧めていく。                   |

| 自己評価                          | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                   |
|-------------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 56                            |      | ○気持ちよい排泄の支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している       | (自己評価)<br>トイレで排泄できるよう援助している。その結果オムツを使用しなくなった方もいる。   | ※                          | もっと排泄パターンの把握に努めていきたい。汚れたものを交換するのを拒否される方については、入浴を勧めたり時間を置いて再度声掛けなどを行っている。 |
| 57                            | 23   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | (自己評価)<br>毎日入りたい方はそのようにしている。拒否の強い方にはタイミングを検討しながら行っており、無理強いはしていない。<br><br>(外部評価)<br>毎日入浴したい方、長時間の入浴を楽しみたい方など、一人ひとりの希望にそった入浴を支援している。      | ※                          | どの方も安心して入浴できるよう、その人に合った方法を検討している。  |
| 58                            |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している                    | (自己評価)<br>夜は寝たいときに寝てもらおうようにしている。日中でも希望や状態に応じて横になる時間がある。   | ※                          | 日中起きっぱなし、寝っぱなしのないよう、よく状況把握に努めていきたい。                                      |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |      |   |   |                            |  |
| 59                            | 24   | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | (自己評価)<br>室内だけの生活とならないよう、外出の機会を多く持ったりしている。<br><br>(外部評価)<br>散歩や買い物で外出したり、趣味の教室に通ったり、囲碁をうったり、調理をしたり、洗濯や掃除をしたり、花の水を換える等の楽しみごとや役割の支援をしている。 | ※                          | 趣味を活かしたものなど、選択肢が増えるようにしていきたい。  |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)           |
|------|------|--|---|----------------------------|--|
| 60   |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | (自己評価)<br>買い物をするときに、各自の財布を持ってもらうこともある。  | ※                          | 手持ちしている方は少なく、買い物時に可能な方に渡すぐらいなので、もっと可能性を見出していきたい。 |
| 61   | 25   | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                    | (自己評価)<br>希望のあったときはもちろん、状態に応じて散歩やドライブに出かけている。<br><br>(外部評価)<br>一人ひとりの希望にそって散歩をしたり、趣味の教室に通ったり、ドライブを楽しんだり、畑の作物を収穫する等、日常的に戸外に出かけられるよう支援している。 | ※                          | その人の行きたいところへ可能な限りいけるよう、支援していく。                   |
| 62   |      | ○普段行けない場所への外出支援<br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | (自己評価)<br>自宅や知人の家、墓参りなど希望があるときには一緒に出かけている。  |                            |  |
| 63   |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                           | (自己評価)<br>希望時などいつでも電話を掛けたりできるようにしている。手紙のやり取りをしている方もいる。  |                            |  |
| 64   |      | ○家族や馴染みの人の訪問支援<br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している            | (自己評価)<br>来られた方と居室で一緒にお茶を飲みながら過ごせるよう支援している。   |                            |  |

| 自己評価            | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)     |
|-----------------|------|---|--|----------------------------|--|
| (4) 安心と安全を支える支援 |      |   |  |                            |  |
| 65              |      | ○身体拘束をしないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価)<br>拘束を行うことのないよう、ケアの方法を考えて行っている。   | ※                          | 勉強会を行っていきながら、意識を高めていきたい。                   |
| 66              | 26   | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる                  | (自己評価)<br>夜間以外は鍵は掛けていない。1階の玄関の内側から出るときにはボタンを押さなければ自動扉が開かない仕組みになっている。<br><br>(外部評価)<br>運営者や職員は鍵をかけないケアの意義を理解しており、日中の玄関や居室に鍵はかかっている。玄関にセンサーを設置しており、1階のデイサービス出入口はボタンを押して外出するようになっている。 | ※                          | 利用者の方にはボタン操作のやり方を伝えている。                    |
| 67              |      | ○利用者の安全確認<br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している                           | (自己評価)<br>本人の好きなところで過ごしてもらうようにしている。定期的に居場所の確認をしている。  |                            |  |
| 68              |      | ○注意の必要な物品の保管・管理<br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている                     | (自己評価)<br>洗剤や薬、刃物などは所定の場所へ置くようにしている。   |                            |  |
| 69              |      | ○事故防止のための取り組み<br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる                  | (自己評価)<br>マニュアルの作成や、勉強会等で周知している。   | ※                          | 未然に防ぐことはもちろん、起きてしまったときの対応が迅速にできるようにしていきたい。 |

| 自己評価                       | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|----------------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| 70                         |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている                 | (自己評価)<br>消防署での救急講習を実施した。年1回は行っていく。  |                            |  |
| 71                         | 27   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている   | (自己評価)<br>運営推進会議で地域の協力が得られるよう話し合った。防災訓練を実施している。消防立会いのみでなく、独自にも行っている。<br><br>(外部評価)<br>年2回以上、夜間を想定した訓練も含めて防災訓練を行っている。災害時に地域の協力が得られるよう話し合いをしているが、地元の方も参加しての訓練実施には至っていない。 | ※                          | 災害時の職員主体の誘導には限界があり、地元の自主防災組織や近所の方の実際的な協力は心強い。日頃から地域に協力を働きかけているが、引き続き話し合いを継続し、合同で訓練を実施する等の取組みを期待する。 |
| 72                         |      | ○リスク対応に関する家族等との話し合い<br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | (自己評価)<br>危険性はあるが本人が望まれる場合、家族に連絡し、相談して検討している。  | ※                          | 注意点について職員間でしっかりと話し合い、対応方法を考えていく。   |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |      |  |  |                            |  |
| 73                         |      | ○体調変化の早期発見と対応<br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている           | (自己評価)<br>毎日のバイタルチェックや、観察により異変がある場合は協力医療機関へ報告し、指示を仰いでいる。   |                            |  |
| 74                         |      | ○服薬支援<br>職員は、一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている       | (自己評価)<br>それぞれの薬のリストを作り、間違いの無いようにしている。内容については情報書をもらい確認している。  | ※                          | 全職員が正確に理解できるようにしていく。   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|------|------|---|--|----------------------------|--|
| 75   |      | ○便秘の予防と対応<br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる    | (自己評価)<br>トイレに座ることを基本としながら、おやつに牛乳等を提供している。便秘薬の調整も行っている。  |                            |  |
| 76   |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている              | (自己評価)<br>毎食後の徹底はできていないが、その人に合ったやり方で行っている。   |                            |  |
| 77   | 28   | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価)<br>十分とは言えない。その人に合ったカロリーの計算などできていない。<br><br>(外部評価)<br>食事の摂取量や水分量はその都度把握して記録に残している。一人ひとりの力量を活かした食事介助を行い、状態に合わせて刻み食にする等の支援をしている。献立の栄養バランスやカロリーのチェックは行われていない。 | ※                          | 保健師や栄養士の指導を受けるようにしていきたい。<br><br>栄養の偏りやカロリーの過不足を把握することが望まれるため、ホームで設置している給食委員会で検討したり、市担当者に相談して献立表の定期的チェックを行う方策について検討することを期待する。 |
| 78   |      | ○感染症予防<br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）       | (自己評価)<br>マニュアルの作成、清潔に保てるよう環境整備を行っている。手洗いを十分に行うことを勧めている。   | ※                          | 流行の前に再確認できるよう、勉強会を行っていききたい。  |
| 79   |      | ○食材の管理<br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている      | (自己評価)<br>フキンやまな板の消毒などを徹底している。賞味期限の確認をしながら調理している。  | ※                          | 目に見えないものであるだけに、もっと意識を持てるよう勉強会を実施したい。   |

| 自己評価                           | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)        |
|--------------------------------|------|---|---|----------------------------|---|
| <b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> |      |   |   |                            |   |
| <b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>         |      |   |   |                            |   |
| 80                             |      | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている                              | (自己評価)<br>玄関内の飾り付けやプランターなどを置いている。   |                            |   |
| 81                             | 29   | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価)<br>行事ごとの写真を飾ったり、花を置いたりしている。トイレは毎朝掃除をしており、その他汚れるたびに掃除もしている。<br><br>(外部評価)<br>居間、食堂は明るくゆったりした雰囲気、見やすい時計やカレンダー、季節の花があり、利用者の作品や行事の写真を飾って居心地よく過ごせる空間となっている。その他の共用空間も不快な音等なく、清潔感がある。 |                            |   |
| 82                             |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                              | (自己評価)<br>たたみコーナーを設置しており、そこで談話したり、テレビを見られる方もいる。   |                            |   |
| 83                             | 30   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | (自己評価)<br>入居前には部屋に入るものならなじみのものを持ち込んでほしいとお願いしている。入居されてからも、本人や家族と相談して持ち込むこともある。<br><br>(外部評価)<br>居室には洗面台が設置され、利用者の使い慣れた衣装ケース、時計、テレビ、シルバーカー、碁盤等が持ち込まれ、利用者の作品も飾って居心地よく過ごせる部屋となっている。       | ※                          | 家族にももっと馴染みのものがどのような効用をもたらすかを理解していただけるようにしていく。 |

| 自己評価                    | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| 84                      |      | ○換気・空調の配慮<br>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | (自己評価)<br>定期的に喚起を行っている。空調管理は本人と相談しながら行っている。  |                            |  |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり |      |  |  |                            |  |
| 85                      |      | ○身体機能を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している          | (自己評価)<br>部屋の家具配置検討など行っている。しかしもっと工夫が必要である。   | ※                          | もっと本人の力が引き出せるよう、設備の検討をしていきたい。          |
| 86                      |      | ○わかる力を活かした環境づくり<br>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している                    | (自己評価)<br>一緒に行いながら、できることは見守るようにしている。   | ※                          | 間違ったとしても、さりげなく対応できるようにしていく。            |
| 87                      |      | ○建物の外周りや空間の活用<br>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている                            | (自己評価)<br>ベランダにプランターを置き、見て楽しんだり水遣りをするでされる方もいる。洗濯物を干していただいている。庭は遊歩道や畑があり、散歩や農作物の世話などを行っている。 |                            |  |

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

| V. サービスの成果に関する項目 |   |   |   |
|------------------|---|---|---|
| 項目               | 取り組みの成果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)                     | 判断した具体的根拠   |   |
| 88               | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                     | 1 ほぼ全ての利用者の<br>(自己 ② 利用者の2/3くらい<br>評価) 3 利用者の1/3くらい<br>4 ほとんど掴んでいない | 利用者と接する機会を多く持つことにより、利用者の希望などが把握できるよう努めている。それをもっと職員が共有できるよう、記録の工夫や話し合いを行っていく。                            |
| 89               | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                        | (自己 ① 毎日ある<br>評価) 2 数日に1回程度ある<br>3 たまにある<br>4 ほとんどない                | 一緒に行動することを大切にしている。腰掛けて会話をしたり、入浴や散歩、ドライブなど個別に時間を共有することができる。  |
| 90               | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                           | (自己 1 ほぼ全ての利用者が<br>評価) ② 利用者の2/3くらいが<br>3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない  | 希望したときに行えるよう努力しているが、待たせてしまうこともある。   |
| 91               | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                | (自己 1 ほぼ全ての利用者が<br>評価) ② 利用者の2/3くらいが<br>3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない  | 感情が不安定になりやすい方が多いが、個別に接することで、落ち着きや笑顔が見られることも多い。  |
| 92               | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                          | (自己 1 ほぼ全ての利用者が<br>評価) ② 利用者の2/3くらいが<br>3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない  | 自宅や知人宅、行楽地など希望に応じて出かけられるよう援助している。散歩やドライブで気分転換が図れるよう努めている。   |
| 93               | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                    | (自己 1 ほぼ全ての利用者が<br>評価) ② 利用者の2/3くらいが<br>3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない  | 医療連携や医師の往診で、個別に対応している。職員間の情報共有を徹底していかなければ、利用者の不安を軽減することは難しいと感じている。                                      |
| 94               | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている           | (自己 1 ほぼ全ての利用者が<br>評価) ② 利用者の2/3くらいが<br>3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない  | 全体として捕らえるのではなく、個別に対応することによって柔軟な対応もできていると思っている。もっともっと関わって、その人を知っていかなければならないと感じる。理解しあってはじめて安心感も生まれてくると思う。 |
| 95               | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく | (自己 1 ほぼ全ての家族と<br>評価) ② 家族の2/3くらいと<br>3 家族の1/3くらいと<br>4 ほとんどできていない  | 面会に来られたときや家族会などで聞かせていただいている。求めていることを実現していけるよう努力する。  |
| 96               | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                | (自己 1 ほぼ毎日のように<br>評価) 2 数日に1回程度<br>③ たまに<br>4 ほとんどない                | ボランティアや、面会に来られる方がいる。毎日来ていただく家族もある。  |

| 項 目 |   | 取 り 組 み の 成 果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)                                     | 判断した具体的根拠  |
|-----|---|---|--|
| 97  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | ① 大いに増えている<br>(自己 2 少しずつ増えている<br>評価) 3 あまり増えていない<br>4 全くいない           | 行事など協力していただく方が増え、大変感謝している。地域密着ということについて相談もしやすい。  |
| 98  | 職員は、生き活きと働いている  | 1 ほぼ全ての職員が<br>(自己 ② 職員の2/3くらいが<br>評価) 3 職員の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない       | 様々な面で不安や不満も抱えていると感じるが、利用者と向き合おうとする姿勢を持っており、よくがんばっている。                                      |
| 99  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           | 1 ほぼ全ての利用者が<br>(自己 2 利用者の2/3くらいが<br>評価) ③ 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない    | 満足という点では疑問である。入浴や外出など、部分的に喜ばれることもあるが、生活全般において考えるとまだまだであると感じる。                              |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       | 1 ほぼ全ての家族等が<br>(自己 2 家族等の2/3くらいが<br>評価) ③ 家族等の1/3くらいが<br>4 ほとんどできていない | しっかりと見てほしいという気持ちがとても伝わってくるが、それを満足できるほどに実現できているか疑問である。全職員が家族の思いをしっかりと受け止め、実現していくよう努力していきたい。 |

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

利用者の持っている力を引き出せるよう援助していきたいと考えている。そのために先に手を出して邪魔をしないこと、待つ姿勢を大切にしていきたい。先入観や自分の都合で行動しないことも重要である。今、自分にできることから、それを今日から始めることを大切にしたい。

地域に貢献できる場でありたい。地域に出かけ、受け入れられるよう努力していく。蒼月に気軽に来てもらえるよう、行事を行っていく。納涼祭では同地区にある他2施設と協力して実施した。これをきっかけに地域の方が来やすい雰囲気作りができればと期待している。

この地域で一緒に生活しているのだという喜びと安心感が持てるよう、これからも地域に根ざした活動を広げていきたい。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
  - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
  - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム蒼月

(ユニット名) 第2ユニット

記入者(管理者)  
氏名 浮村 祐政

評価完了日 平成 20 年 8 月 18 日

(別表第1)

## 自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

| 自己評価               | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)       |
|--------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |      |  |  |                            |  |
| <b>1. 理念と共有</b>    |      |  |  |                            |  |
| 1                  | 1    | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている       | (自己評価)<br>新風会独自の運営理念を作っているとともに、グループホーム蒼月としての理念も作り、面会者やスタッフがいつでも目にする位置に掲げている。   | ※                          | グループホーム蒼月としての理念の中に、地域の一人であることを目指した理念を取り入れたい。 |
|                    |      |  | (外部評価)<br>運営法人の運営理念を念頭に、職員が話し合ってつくりあげた分かりやすい理念がある。この理念を年間目標として具体化し、理念とともにホーム内に掲げ、日々の支援に繋げている。しかし、地域密着型サービスとしての視点が明確に伝わりにくい。                | ※                          | 地域密着型サービスの意義や役割を反映した内容の理念となるよう、更なる検討を期待する。   |
| 2                  | 2    | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                          | (自己評価)<br>運営理念を掲げているとともに、職員各自理念の中から目標を決め、誰でも見える位置に掲げて日々取り組んでいる。年1回程度目標の評価を行いながら理念の実践についての見直しを行ったり、月1回の職員会やケアカンファレンスでは理念に基づいたケアについて話し合っている。 |                            |  |
|                    |      |  | (外部評価)<br>職員会やケアカンファレンスで理念を確認・共有している。理念を具体化した年間目標「一緒に行動しながら持っている力を引き出す」を念頭に、利用者が自力で食事できるよう介助したり、トイレ誘導での排泄を支援する等、理念の実践に取り組んでいる。             |                            |  |
| 3                  |      | ○家族や地域への理念の浸透<br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | (自己評価)<br>入居者や家族・地域の方がホームに来られた際ホームの廊下など見える位置に、運営理念・グループホーム蒼月独自の理念・各職員の目標を掲示して、理解してもらえるよう努力している。  |                            |  |

| 自己評価                         | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|------------------------------|------|--|--|----------------------------|---|
| <b>2. 地域との支えあい</b>           |      |  |  |                            |   |
| 4                            |      | ○隣近所とのつきあい<br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている      | (自己評価)<br>ホーム周辺で出会った隣近所の方から、気軽に声をかけていただく機会が増えている。しかし日常的な付き合いは不十分で、気軽に立ち寄れる様子ではない。  | ※                          | 利用者様との散歩を積極的に行い顔見知りになっていただく機会を確保したり、配達や訪問に頼りすぎないように、地区の商店などに積極的に出かけて行きたい。   |
| 5                            | 3    | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている        | (自己評価)<br>かな習字教室や書籍の貸し出しの利用に、地区の公民館に通う利用者様がいるが、一部の方のみで十分ではない。地区の方から、地区の行事や地域活動の参加が少ないとの指摘を受けている。年1回の納涼祭は、地域の方から毎年好評を得ている。  | ※                          | 地区の行事や地域活動に積極的に参加していきたい。一部の利用者様だけではなく、今後は利用者様全員が地元の方と交流ができるようにしたい。  |
|                              |      |  | (外部評価)<br>地域の運動会や文化祭に参加したり、本を借りたり習い事をするなど公民館活動に参加している方もおり、地域との交流に努めている。別法人の近隣ホームや高齢者施設と合同で開催する納涼祭が地域の方に好評を得ている。散歩中に出会った方と挨拶を交わしたり、近所の方が野菜を届けてくれる等の関係もできている。        | ※                          | ホームは地域との交流に努めているが、さらに次の段階として、地域の清掃活動に参加するなど地域の一員としての役割を果たしていくことや、介護教室、認知症理解のための講演会を開くなど地域貢献としての活動に取り組んでいくことを期待する。 |
| 6                            |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | (自己評価)<br>地域の高齢者の皆さんや子供さん達が楽しみをもって参加できる企画の一つとして、毎年夏に納涼祭を企画している。多田地区の他のグループホームやデイサービス事業所とも一丸となって、話し合いの場を積極的にもっている。しかし蒼月独自としては、まだまだ不十分であり、もっと話し合いの場を拡大していく必要がある。     | ※                          | 将来的には、「介護教室」や「認知症の学習会」を地域で行なえるように取り組んでいきたい。   |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |      |  |  |                            |   |
| 7                            | 4    | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる          | (自己評価)<br>スタッフ全員一人ずつ自己評価を行い、意味を理解していく取り組みを行っている。評価実施後、できることから少しずつ改善するようにしているが、まだ不十分な点が多い。  | ※                          | 職員会や運営推進会議などで、具体的な対策の検討一つ一つしていきたいと思う。   |
|                              |      |  | (外部評価)<br>運営者、管理者、職員は評価の意義を理解した上で全員で自己評価に取り組んでいる。職員は自己評価が日々のケアの振り返りになると感じている。前回の評価後、地域とのさらなる交流に努め、家族への金銭管理の報告方法を工夫し、栄養バランスのチェックの検討を始め、災害時の地域の協力を働きかける等の改善に取り組んでいる。 |                            |   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|---|----------------------------|--|
| 8    | 5    | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている         | (自己評価)<br>運営推進会議でサービスの実際や報告を定期的に行っており活発な意見が出ている。出された提案や意見を職員会議でスタッフに伝え、意見に反映した改善に努めている。<br><br>(外部評価)<br>会議ではホームの実情、行事、課題、外部評価等について報告し、それらに対する質問、意見を出してもらっている。出席者からの意見や、地域や公民館活動の情報等をホームのサービス向上に活かしている。 | ※                          | より多くの方の意見を聴けるよう、あらゆる方の参加を進めていきたい。      |
| 9    | 6    | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                          | (自己評価)<br>運営推進会議での意見交換はもちろんであるが、その他分からないことがあったり、サービスの課題がある時は、各市の担当者に相談を行なっている。<br><br>(外部評価)<br>利用者の手続き関係で市担当課に出向いたり、権利擁護や障害者支援、ホームの課題等を担当者に相談し、サービスの質の向上に取り組んでいる。                                      |                            |  |
| 10   |      | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | (自己評価)<br>管理者は制度について知っており、対象者があれば地域包括支援センターの職員と話し合いの場を設けている。しかし職員は、権利擁護に関する知識や理解が不十分である。ケアカンファレンスで話しはしているが、「難し過ぎる」との意見もある。  | ※                          | 権利擁護に関する研修への参加を積極的にすすめていきたい。           |
| 11   |      | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている          | (自己評価)<br>管理者は、高齢者虐待防止法関連について理解しているが、職員は理解していない者が多い。ケアカンファレンスで虐待に関する話を少ししただけで、まだ理解できるだけの十分な勉強会を行っていない。  | ※                          | 勉強会を開催し、虐待防止についてさらなる理解を深めていきたい。        |

| 自己評価            | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 4. 理念を実践するための体制 |      |   |   |                            |  |
| 12              |      | ○契約に関する説明と納得<br>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている    | (自己評価)<br>契約時や改定時には口頭及び文書で説明し、同意をもらっている。退去の状態になった時は、本人・家族と十分な説明話し合いをし、納得のいく退所の支援を行なっている。利用案内時の説明文書及び契約書に示し、入居時や事前訪問時に分かりやすく説明し同意を得ている。  |                            |  |
| 13              |      | ○運営に関する利用者意見の反映<br>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている   | (自己評価)<br>利用者代表と運営推進会議に参加していただき、積極的に意見を言える機会をつくったり、定期的に市の介護相談員の来所を受け入れ、意見を言えるようにしている。また相談ノートを作成し、日常生活での何気ない会話からも、利用者や家族の意見・不満・苦情を記入して運営に反映させるようにしている。   |                            |  |
| 14              | 7    | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | (自己評価)<br>面会時などを利用して状態の説明を行ったり、面会ができない家族に対しては、家庭訪問や電話で説明を行なっている。状態の変化時にも、随時連絡するようにしている。状態に異常がみられたら、その都度家族に電話連絡をし、対応の相談を行っている。面会時等に、スタッフから積極的に声をかけ、意見交換や希望の聞き取り・相談を密に行なっている。ホーム側から歩み寄って、話しやすい雰囲気になるよう心がけている。<br><br>(外部評価)<br>利用者の暮らしぶりや健康状態は家族の来訪時や家族会等で報告し、ホーム便りでも伝えている。来訪の難しい家族には、可能な場合は自宅を訪問しての報告にも対応している。金銭管理は個別の出納帳のコピーを渡し、確認印をもらっている。新規の採用職員はホーム便りでも紹介している。 |                            |  |
| 15              | 8    | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている   | (自己評価)<br>契約時、相談・苦情の窓口や職員を文書や口頭で説明している。1階の玄関にご意見箱を設置し、気軽に相談・苦情を寄せられるようにしている。家族会において、意見が言いやすいようにホーム関係者不在で、家族同士が相談や要望を言える時間をつくったり、重要事項説明書に公的機関の相談・苦情の窓口の連絡先等を明示している。市の介護相談員の受け入れもしている。<br><br>(外部評価)<br>家族の意見や希望は来訪時、家族会、「利用者、家族相談ノート」等で把握し、ホームの運営に反映させている。苦情相談窓口は内部と外部に分けて文書に明記し、家族にも説明している  |                            |  |

| 自己評価               | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|--------------------|------|--|---|----------------------------|--|
| 16                 |      | ○運営に関する職員意見の反映<br>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている  | (自己評価)<br>月に1回の職員会やケアカンファレンス、日々の申し送りなどで意見や提案を聞くようにしているが、もっとゆっくり聞いてもらえる時間をつくってほしいとの一部の職員からあり、まだ十分でない。  | ※                          | 管理職員は、日々の業務の中でも、スタッフの意見がゆっくり聞ける時間を確保していく。  |
| 17                 |      | ○柔軟な対応に向けた勤務調整<br>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている                      | (自己評価)<br>必要な時間帯に職員を確保するため、職員ひとりひとりの意見を聞いている。プライベートの充実でストレス発散できるよう、職員の希望を聞いたうえの勤務調整を心がけている。   |                            |  |
| 18                 | 9    | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | (自己評価)<br>職員の離職が多く、人手不足から十分なケアができなかった時期もあり、利用者様へのダメージが大きい。職員の変更がある度に、不安を訴える利用者様や家族様も多い。<br><br>(外部評価)<br>運営者、管理者は職員の異動や離職を最小限にするよう努めている。職員が代わる場合は重複勤務を行ったり、採用者を利用者丁寧に紹介する等、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。 | ※                          | 極力、異動や転勤がないように、法人代表と検討を行なっていく。またどうしても変更しなければならない場合は、一度に行なうことはせず、利用者様や家族の皆様が少しずつ馴染めるよう配慮していく。 |
| <b>5. 人材の育成と支援</b> |      |  |   |                            |  |
| 19                 | 10   | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | (自己評価)<br>あらゆる研修の呼びかけやスタッフ調整を行ない、少しずつ受講スタッフが増えている。しかし業務が忙しくなり、ホーム内での勉強会は行なえていない。<br><br>(外部評価)<br>管理者及び職員は外部研修に随時参加している。また、ホーム内では職員会やケアカンファレンスの中で医療やケアに関する学習を行っている。同系列の事業所合同での勉強会も実施されている。      | ※                          | 今後も外部の研修に、積極的に受講してもらえるよう呼び掛けを行っていく。またホーム内での勉強会も定期的に行っていくようにしたい。まずは、医療面や事故防止面からの勉強会を行いたい。     |

| 自己評価                             | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)         |
|----------------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 20                               | 11   | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | (自己評価)<br>多田地区3施設の職員の方々と、納涼祭などの企画会議や意見交換ができる機会がある。救命救急合同講習会の企画では、多田地区の施設の他に、付き合いのある西予市内の施設の方々へ参加を呼びかけ、勉強をしながら交流を深めることができた。<br><br>(外部評価)<br>地域の他ホームや高齢者施設と交流の機会があり、合同で救急処置を消防署で学ぶなどネットワークづくりに努めている。 |                            |  |
| 21                               |      | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み<br>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる                                    | (自己評価)<br>食事会や行事後の打ち上げをしたり、業務後に話す機会を設けたりしているが、まだ十分ではなく個々でストレスを解消している部分が多い。  | ※                          | 親睦会を度々行ないながら、悩みを聞いたり話したりできる機会を多くもちたい。          |
| 22                               |      | ○向上心を持って働き続けるための取り組み<br>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている                        | (自己評価)<br>職員の力量に応じた役割を与え、会社で必要な人材であることを実感できる場を提供し向上心につながる取り組みを行なっているが、福利厚生や賃金、パート職員については勤務時間数制限の不満を訴える者が多いのが実情である。  | ※                          | 人事に関することは、法人代表と検討をくりかえし、個々の努力や実績に応じた配慮をしていきたい。 |
| <b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>     |      |   |   |                            |  |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |      |   |   |                            |  |
| 23                               |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている             | (自己評価)<br>相談から利用にいたるまで家庭などの訪問を行い、本人自身の悩みや不安なことを聞くようにしている。   |                            |  |
| 24                               |      | ○初期に築く家族との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                  | (自己評価)<br>相談から利用にいたるまで家庭などの訪問を行い、家族等の悩みや不安なことを聞くようにしている。希望があれば、管理者個人的の携帯電話番号をお知らせし、いつでも相談できるようにしている。  |                            |  |

| 自己評価                      | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 25                        |      | ○初期対応の見極めと支援<br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                                | (自己評価)<br>当ホーム入居希望の相談を受けたら、十分にお話を伺いホームに適した入居対象者か否かを見極めている。他のサービス利用が適切と判断した場合は、当ホームで抱え込まず、本人・家族の同意のうえ、他のサービス事業者と連携した調整を図っている。  |                            |  |
| 26                        | 12   | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | (自己評価)<br>本人が納得したうえでサービスを利用できるよう、希望があれば体験や見学を積極的に受け入れている。<br><br>(外部評価)<br>入居前の利用者にホームを見学してもらったり、職員が前もって自宅を訪問したり、入院先で話を聞く等して顔見知りになり、ホームに徐々に馴染めるよう工夫している。  |                            |  |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 |      |   |   |                            |  |
| 27                        | 13   | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                        | (自己評価)<br>分からないことがあれば、人生の大先輩である利用者の皆様に聞き、学ばしていただく機会が多い。できる限り寄り添うことで、その人がどう思っているかを知る努力をしている。<br><br>(外部評価)<br>職員は、利用者と共に散歩や買い物に出かけたり、畑の作物を収穫したり、近くのホームを訪問したり、レクリエーションを楽しんだりしている。また、利用者から昔の生活や地域の状況、料理法、洗濯物のたたみ方等を教わっている。 |                            |  |
| 28                        |      | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている                                  | (自己評価)<br>面会時には、積極的にご家族様に話しかけ、ご家族の想いや考えを聞くようにしている。面会の少ないご家族様には、定期的に電話連絡をしたり家庭訪問を行いながら、関係を深める努力をしている。  |                            |  |

| 自己評価                               | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|------------------------------------|------|--|--|----------------------------|---|
| 29                                 |      | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している             | (自己評価)<br>スタッフ全員が、ご家族様が一番の支援者であることを認識しており、できるだけご家族様との関わりが途絶えないように努めている。援助に関することは、定期的にご家族様を交えての担当者会議を開催したり、ホーム来所ができないご家族様には、電話や家庭訪問をするなどして、利用者様とご家族様の距離が離れてしまわないように配慮している。また利用者様の暮らしづくりは、「ホームだより」を作成し、ご家族様に毎月送付している。                              |                            |   |
| 30                                 |      | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている               | (自己評価)<br>馴染みの場所や馴染みの人間関係を大切に援助にあたっている。昔の仕事上の知人や馴染みの友人が度々ホームに会いに来て下さる場面も多い。また馴染みの場所へ行くことをケアプランに反映させ、援助にあたっている。   |                            |   |
| 31                                 |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている              | (自己評価)<br>気の合わない利用者様同士は、座る場所の調整をしたり表情や言葉に気をつけ、トラブルを未然に回避しよう心がけているが、食事の時間が同じになるとトラブルが発生することもある。どうしても他の利用者様と馴染めない方もおり、個別的にスタッフとの活動を中心に行なっている場合もある。   | ※                          | 関係が密になりやすく、トラブルが発生しやすいため、その人の性格や背景もしっかりアセスメントし、今後も表情や言葉から察知する対応力をスタッフ一人一人身につけたい。また食事に関する環境を個人に合わせていくようにしたい。 |
| 32                                 |      | ○関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | (自己評価)<br>サービス利用終了したご家族が、気軽に遊びに来ていただける場面もあり、サービス利用が終了しても、家族会や各行事等参加への定期的なご案内を積極的にしている。   |                            |   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |                            |   |
| <b>1. 一人ひとりの把握</b>                 |      |  |  |                            |   |
| 33                                 | 14   | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                   | (自己評価)<br>ひとりひとりの「～したい」との意向を一番大切に援助を行なっている。日常生活の何気ない会話から、その人の思いや気持ちを取り取るよう努力し、相談ノートや申し送りノートを活用しながら、職員全員に周知を図り、ケカンファレンスなどで積極的に検討する機会をもっている。<br><br>(外部評価)<br>一人ひとりの思いや希望は日頃の会話やしぐさ、様子等から把握している。落ち着かない様子の利用者をドライブに誘ったり、自宅近くを散歩することで穏やかな表情になることもある。 |                            |   |

| 自己評価                                  | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                            |
|---------------------------------------|------|---|---|----------------------------|---|
| 34                                    |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                    | (自己評価)<br>センター方式の「私の暮らしシート」作成したり、相談ノートや申し送りノートでの周知やケアカンファレンスで相互理解をもつ機会をもっている。   | ※                          | まだ一人一人の生活歴に合った馴染みの暮らしには至っていないため、今後も継続的にケアカンファレンスなどで検討しながら把握に努めたい。 |
| 35                                    |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている  | (自己評価)<br>センター方式の「できること、できないことシート」を一人一人作成したり、ケアカンファレンスや申し送りノートで現状を把握できるように努めている。  |                            |   |
| <b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |      |   |   |                            |   |
| 36                                    | 15   | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | (自己評価)<br>利用者ひとりひとりの状態にそった、具体的な介護計画を作成している。定期的にケアカンファレンスを開催したり、家族とのサービス担当者会議を開催し、それぞれの意見やアイデアを積極的に聞く機会を設け、介護計画に反映させている。<br><br>(外部評価)<br>介護計画は、利用者や家族の思いを反映しながら職員が話し合って作成し、家族のサインをいただいている。作成した計画は個人記録に綴じ、日々のケアとも繋げている。利用者毎に担当職員を決め、その職員が毎月評価を行っている。 |                            |   |
| 37                                    | 16   | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | (自己評価)<br>介護計画は3～6ヶ月に1回は見直すことにしているが、利用者の状況により、随時見直すことにしている。その場合もケアカンファレンス開催・家族とのサービス担当者会議開催を行なっている。<br><br>(外部評価)<br>月1回のケアカンファレンスで介護計画をチェックし、状況に変化がなくても3～6か月に1回、見直しを行っている。また、利用者の状況に変化が生じた場合は、その都度見直している。  |                            |   |

| 自己評価                               | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| 38                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている    | (自己評価)<br>利用者ひとりひとりの日々の状態や変化、その人らしさを具体的に記録している。また業務日誌や申し送りノートなどで職員間で情報共有ができるよう工夫している。  |                            |  |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |      |  |  |                            |  |
| 39                                 | 17   | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている              | (自己評価)<br>本人や家族の状況や要望に応じて、柔軟な支援を行なっている。行きたい場所への外出や受診、家族代理としての支援を積極的に行なっている。<br><br>(外部評価)<br>利用者の急な受診や外出、法事、墓参り、家族のホーム内での宿泊等、ホームは多機能性を活かした柔軟な支援を行っている。 |                            |  |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |      |  |  |                            |  |
| 40                                 |      | ○地域資源との協働<br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している             | (自己評価)<br>まだ少ないが、地域の子供さん対象のボランティアを受け入れたり、行事などにも地域のボランティアの方々が積極的に来て下さっている。また小学校の夏祭りや運動会、文化祭にも参加させていただいたり、民生委員さんや区長さんにも、地域資源の情報を教えていただいたりと、ご協力を賜っている。    |                            |  |
| 41                                 |      | ○他のサービスの活用支援<br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている  | (自己評価)<br>本人の意向や必要性があれば、他のサービスを利用できるよう支援体制を整えている。福祉用具に関して、他の事業者と積極的に話し合い適切な用具選びをしたり、在宅医療サービスに関しては、主治医と積極的に意見交換を行ったりしている。                               |                            |  |
| 42                                 |      | ○地域包括支援センターとの協働<br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | (自己評価)<br>権利擁護など総合的なケアマネジメントについて、地域包括支援センターと話し合う機会をもっている。  |                            |  |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|------|------|--|--|----------------------------|--|
| 43   | 18   | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                          | (自己評価)<br>入居時や必要時に、本人や家族に相談し決定している。契約や連携をしている医療機関があり、状態の変化時には相談できる体制を確保している。かかりつけ医から毎日電話がかかり、状態の報告を行っている。<br><br>(外部評価)<br>利用者や家族が希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力医療機関から毎朝電話があり、利用者の状態を報告することで、一人ひとりの細やかな健康管理が行われている。   |                            |  |
| 44   |      | ○認知症の専門医等の受診支援<br>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している                         | (自己評価)<br>当ホームの協力医療機関の医師や精神科の医師より、指示や助言をもらっている。日中・夜間ともに連絡先を聞いており、24時間体制での相談に応じてもらえる。   |                            |  |
| 45   |      | ○看護職との協働<br>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている  | (自己評価)<br>協力医療機関の看護師が週1回訪問し、利用者様全員の健康管理や指導・助言をもらえる機会を確保している。また24時間体制で気軽に相談し、健康管理・医療の活用を行なっている。   |                            |  |
| 46   |      | ○早期退院に向けた医療機関との協働<br>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | (自己評価)<br>家族と相談しながら、医療機関との連携がとれるよう医師や看護師と話し合ったり、協力を行なっている。   |                            |  |
| 47   | 19   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している              | (自己評価)<br>重症化・看取り体制の指針を整備している。協力医療機関の神南診療所で、24時間体制で在宅終末期医療を受けられるように話し合っている。重症化した場合は、ご家族様や医療機関の関係者とその都度話し合いを設け、全員で方針を共有するように心がけている。<br><br>(外部評価)<br>重度化や終末期の対応は可能であり、利用者や家族に早い時期から説明し、話し合いをしている。利用者の急変時等には1階同系列のデイサービス看護師の協力を得ることもある。看取りのマニュアルがあり、医療、看護、介護の要点をまとめているが、実際の、具体的な内容が十分とは言えない。 | ※                          | 重度化や終末期における家族の利用者への関わり、職員の実際的なケア、継続的な医療処置、勤務体制、看取り上の不安等について職員で話し合いを継続し、具体的な対応への取組みを期待する。 |

| 自己評価                      | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|---------------------------|------|---|--|----------------------------|--|
| 48                        |      | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援<br>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | (自己評価)<br>重症化・終末期の利用者がおれば、家族との連携を密にとり、スタッフ全員が変化に応じて検討できるように努めているが、経験の浅い職員が多く不安を訴える者も多い。  | ※                          | 文書による定期的に重症化や看取りに対する学ぶ機会をもち、ケアカンファレンス等で検討していきたい。   |
| 49                        |      | ○住み替え時の協働によるダメージの防止<br>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている                      | (自己評価)<br>住み替えに関しては、本人や家族と十分に話し合っているようにしている。希望があった時は、転居先のケア関係者と密に情報交換を行ったり、必要な情報提供表の作成を行なえるようにしている。  |                            |  |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |      |   |  |                            |  |
| 1. その人らしい暮らしの支援           |      |   |  |                            |  |
| (1) 一人ひとりの尊重              |      |   |  |                            |  |
| 50                        | 20   | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない  | (自己評価)<br>利用者様との信頼関係を大切に、一人一人に応じた言葉かけや対応を心がけている。記録等の個人情報の管理は、事務所に保管するよう努めているが、日々のケース記録を利用者様が見える位置に置いてしまう場合もある。<br><br>(外部評価)<br>小声でトイレ誘導をしたり、食事の食べこぼしをさりげなく片付ける等、対応に配慮している。記録類は個人情報保護に配慮して事務所のスチール戸棚に保管している。 | ※                          | 丁寧な対応を心がけてはいるが、男性の利用者様の中には、男性職員の存在が不満に変わる方がおられる。そういう場合は、さりげなく女性職員が交替し対応していきたい。日々のケース記録を使用しない間は、事務所に保管するようにしたい。 |
| 51                        |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている  | (自己評価)<br>食べたいものを選んだり入浴時間を選んだり、行きたい場所への外出など積極的な働きかけを行なっている。しかし希望を言われる人と言われない人がおり、言われない人はスタッフが決めている時が多い。  | ※                          | その人の好みや家庭での状況の把握をしっかり行い、いろんな選択肢を提供しながら、表情や小さな動作からの希望を読み取る力を身につける。また日頃の何気ない一言から、その人のやりたい事をひろいあげるようにしていきたい。      |

| 自己評価                          | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                       |
|-------------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 52                            | 21   | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価)<br>できるだけ自宅で生活していた時のペースを大切にし、食事時間や入浴・起床・就寝など、その人に合わせるよう努力している。晩酌や朝風呂を楽しんだり、自分の好きな時に昼寝をするなど、個人の生活リズムに合わせた援助を心がけている。<br><br>(外部評価)<br>利用者の起床時間に合わせて身づくろいや食事の支援をしたり、自力でゆっくり食事する方を急かすことなく見守り、昼寝する方にはその環境づくりをする等、一人ひとりのペースを大切に支援をしている。   | ※                          | 食事時間や食事回数等に不満を訴えられる利用者様がおられるため、できるだけその方の希望に添えられるよう配慮をしていきたい。 |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |      |   |   |                            |  |
| 53                            |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている             | (自己評価)<br>着替えを準備する時など利用者と一緒にいき、自分の着たい服を選んでもらうようにしている。食べこぼし等で衣類が汚れてしまった場合は、その都度交換するようにしている。本人の希望時に訪問理美容をお願いして散髪をしているが、馴染みの理美容店に行かれる方はまだ少ない。<br><br>(外部評価)<br>自力で食事できる利用者を時間がかかっても食べ終わるまで見守り、状態に合わせて刻み食にして摂取を促すなどしている。好みの漬物を持参して食事を楽しむ方もいる。利用者と職員が調理の下ごしらえ、味付け、後片付け等を一緒に行っている。  | ※                          | 利用者様の馴染みの理美容院利用ができるように配慮していきたい。                              |
| 54                            | 22   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている      | (自己評価)<br>利用者の状態や体調に合わせて食材を変えたり、形状(刻む・薄くする・軟らかくなるまで煮込む)などの工夫をしている。盛り付けも美味しそうに見えるように、彩りを考えて食材を選んでいる。食事の準備や片づけを一緒に行ない、スタッフも利用者と同じ食事をし、常に近くで見守りをしたり、食事に介助を要する利用者には、食べこぼし等に対するサポートをさりげなく行なっている。<br><br>(外部評価)<br>自力で食事できる利用者を時間がかかっても食べ終わるまで見守り、状態に合わせて刻み食にして摂取を促すなどしている。好みの漬物を持参して食事を楽しむ方もいる。利用者と職員が調理の下ごしらえ、味付け、後片付け等を一緒に行っている。 |                            |  |
| 55                            |      | ○本人の嗜好の支援<br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している             | (自己評価)<br>好きなおやつや飲み物を聞いたり、食べたいものを提案してもらいながらティータイムを楽しんでいただくよう努力している。毎日晩酌を楽しむ方もおられる。現在たばこを吸われる方はおられないが、希望時には楽しめるようにしたいと思う。  |                            |  |

| 自己評価                          | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|---|--|----------------------------|--|
| 56                            |      | ○気持ちよい排泄の支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している       | (自己評価)<br>排泄の失敗やおむつ使用をできる限りしないように、排泄パターン表を作成し、必要な利用者には記入を行っており、排泄の自立に向けた支援に力を入れている。全員トイレでの排泄実施を行い、できるだけ布パンツでの対応に移行するようにしている。   |                            |  |
| 57                            | 23   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | (自己評価)<br>入浴は毎日朝から夕方まで利用可能にしている。入浴の回数や長さは、概ね利用者の希望に合わせているが、夜間の入浴に関しては、現時点希望者もおらず、スタッフの人数の関係で行っていない。<br><hr/> (外部評価)<br>毎日入浴したい方、長時間の入浴を楽しみたい方など、一人ひとりの希望にそった入浴を支援している。   | ※                          | 夜間入浴の希望者がおれば、職員を調整し入浴できる体制にしたい。        |
| 58                            |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している                    | (自己評価)<br>だいたいの睡眠パターンの把握はできている。眠れない利用者には、日中しっかり動いてもらったり、夜食や温かい飲み物などを提供したり、室温や寝具・衣類の調整など安眠への配慮を行なっている。希望者には、医師や家族と相談のうえ、寝る前の晩酌も行なっている。昼の間で横になったり、居室で休んでもらったりしながら適度に休息をとってもらうように配慮している。  |                            |  |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |      |   |  |                            |  |
| 59                            | 24   | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | (自己評価)<br>家事の得意な利用者には家事仕事（調理や洗濯・掃除）、話し好きな方には誕生会でのスピーチ、読書が好きな方は地区の公民館に本を借りに行く、手先の器用な利用者からは装飾品を作ってもらおう等、日常的に活躍の場面作りや楽しみの時間作りをしている。スタッフも感謝し喜び合う言葉掛けをしている。運営推進会議では、利用者代表として積極的に発言し、運営に関する役割もっている方もおられる。<br><hr/> (外部評価)<br>散歩や買い物で外出したり、趣味の教室に通ったり、囲碁をうったり、調理をしたり、洗濯や掃除をしたり、花の水を換える等の楽しみごとや役割の支援をしている。 |                            |  |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                     |
|------|------|--|---|----------------------------|--|
| 60   |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | (自己評価)<br>ホームで預かっている現金がほとんどであるが、希望があれば利用者の状況に応じて家族と相談しながら、少ない額のお金を持ってもらっている。  |                            |  |
| 61   | 25   | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                    | (自己評価)<br>自由に外出できるようにしており、外に出たいとの希望がある時は、基本的に制することはせず、危険のない範囲での見守りや付き添いで対応している。自宅への外出や外泊も家族と相談しながら積極的に支援している。<br><br>(外部評価)<br>一人ひとりの希望にそって散歩をしたり、趣味の教室に通ったり、ドライブを楽しんだり、畑の作物を収穫する等、日常的に戸外に出かけられるよう支援している。 | ※                          | 自由に外出できるようにしているが、日常的に外出をされているには一部の利用者様に限られているため、全員が屋外に出れる機会を積極的につくっていききたい。 |
| 62   |      | ○普段行けない場所への外出支援<br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | (自己評価)<br>個人・他の利用者同士とで、買い物や外食、行きたい場所への外出を行なっているが、職員の人手不足から十分な外出に至っていない時期があった。お花見には、家族と一緒に外出を行なっている。   | ※                          | 職員をしっかりと確保し、日常的に十分な外出支援を行っていききたい。また日常的に、ご家族の皆様と一緒に外出できる企画を考えていききたい。        |
| 63   |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                           | (自己評価)<br>いつでも電話や手紙での通信ができる体制ではあるが、先方の迷惑な時間帯には、スタッフが対応することがある。年賀状や手紙をだしたり、家族や知人からの郵便物が積極的に届き交流を深めている。   |                            |  |
| 64   |      | ○家族や馴染みの人の訪問支援<br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している            | (自己評価)<br>家族等が訪問した時は、必ず湯茶を出しゆっくり過ごしていただけるよう配慮している。挨拶などの徹底や、訪問時はホーム側から家族等に声をかけるなどの対応の指導も受け、家族交流に力をいれている。希望者は少ないが、宿泊・食事も可能なシステムにしており、ホームでお友達との食事会を楽しまれる方もおられる。  |                            |  |

| 自己評価            | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|-----------------|------|---|--|----------------------------|---|
| (4) 安心と安全を支える支援 |      |   |  |                            |   |
| 65              |      | ○身体拘束をしないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価)<br>声かけや気持ちを聞くことで心理的な負担を取り除き、精神面の拘束にも配慮するとともに、身体拘束を行わないことをスタッフは認識している。事故防止のためどうしても身体拘束をしなければならない場合には、必ず説明を行い同意を得るようにしている。  |                            |   |
| 66              | 26   | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる                  | (自己評価)<br>三階の玄関や非常口・ベランダなど鍵はあるが、いつでも自由に入出りできる。外出の察知は、玄関センサーのチャイムを取り付けてあり、やや音が大きい。各ユニットの玄関は閉錠してはいるが、1階がデイサービスとの共有玄関になっており、外に出るにはボタンを押さないと出れない仕組みになっている。<br><br>(外部評価)<br>運営者や職員は鍵をかけないケアの意義を理解しており、日中の玄関や居室に鍵はかかっている。玄関にセンサーを設置しており、1階のデイサービス出入口はボタンを押して外出するようになっている。 | ※                          | 玄関センサーのチャイム音を必要以上の大きさにしないようにし心がけている。デイとの共有玄関は、いつでも外に出ることができるように、「ボタンを押してください」の張り紙をし、出入りする方々にお知らせしている。 |
| 67              |      | ○利用者の安全確認<br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している                           | (自己評価)<br>居室におられる時など、プライバシーに配慮しながら定期的に安否確認の訪室を行なっている。  |                            |   |
| 68              |      | ○注意の必要な物品の保管・管理<br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている                     | (自己評価)<br>スタッフ間で管理場所や保管方法を把握しており、実行に取り組んでいる。注意が必要な物品は、鍵がかかるスチール棚に保管したり、容易にとりだせない工夫をしている。   |                            |   |
| 69              |      | ○事故防止のための取り組み<br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる                  | (自己評価)<br>事故報告書とヒヤリハットレポートを作成し、事故があった時は必ず記入してもらいながら対策を検討している。リスクマネジメント委員会も立ち上げており、定期的に会議を実施し、各部署の情報の共有や事故防止についての検討やマニュアルの整備を行っている。   | ※                          | まだ危機管理についての認識が低いため、事例検討をする勉強会を開催して知識と理解を得ていきたい。   |

| 自己評価                       | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|----------------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| 70                         |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている                 | (自己評価)<br>緊急時対応の知識や経験が不十分であり、不安をかかえているスタッフが多い。消防立会いの救命救急講習を実施しているが、ホーム内での訓練は定期的に行っていない。  | ※                          | 事例を通した定期的な内部研修を行なっていきたい。   |
| 71                         | 27   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている   | (自己評価)<br>定期的に消防立会いと内部での消防訓練を実施している。地震や水害への訓練は、近日中に実施する予定である。地域との連絡体制について話し合いを行なう機会はあるが、まだ地域の方を交えての具体的な訓練等の実施には至っていない。地域の方から災害時のホームとしてのネットワーク作りの提案がなされている。<br><br>(外部評価)<br>年2回以上、夜間を想定した訓練も含めて防災訓練を行っている。災害時に地域の協力が得られるよう話し合いをしているが、地元の方も参加しての訓練実施には至っていない。 | ※                          | 定期的な避難訓練のスケジュールをたて、ご家族の皆様や地域の皆様も参加していただく避難訓練の実施にとりくみたい。ホームと地域住民とのネットワーク作りを積極的にすすめたい。<br><br>災害時の職員主体の誘導には限界があり、地元の自主防災組織や近所の方の実際的な協力は心強いいため、日頃から地域に協力を働きかけているが、引き続き話し合いを継続し、合同で訓練を実施する等の取り組みを期待する。 |
| 72                         |      | ○リスク対応に関する家族等との話し合い<br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | (自己評価)<br>入居時から状況に応じての説明を定期的に行なっており、リスクに関しての話し合いも積極的にしている。抑圧のない暮らしへの援助に、家族等の皆さんも協力的である。  |                            |  |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |      |  |  |                            |  |
| 73                         |      | ○体調変化の早期発見と対応<br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている           | (自己評価)<br>毎日バイタルチェックや健康チェックを行い、異常の早期発見に努めている。バイタルチェック表や受診ノートや医療との連携連絡票を活用し、状態の変化の記録をしている。また状態変化時には必ず申し送りノート等に記載し、毎日出勤時にチェックを行い、体調等の変化を把握するように心がけている。   |                            |  |
| 74                         |      | ○服薬支援<br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている       | (自己評価)<br>利用者別の薬情報提供表のファイルを作成し、いつでも見れるようにしたり、薬管理表のチェックを行い理解できるようにしている。用法に応じての薬箱を作成し、処方の変化したり症状が変化した時は、申し送りノート等を活用し一人一人の把握に努めている。   |                            |  |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|------|------|---|--|----------------------------|--|
| 75   |      | ○便秘の予防と対応<br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる    | (自己評価)<br>毎日牛乳を飲んでもらったり食材の工夫、食後のトイレ誘導を行なったりしている。便秘がちな方には、下剤の調整を適宜行なったり、腹部マッサージを行なっている。また適度に運動ができる機会も提供している。  |                            |  |
| 76   |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている              | (自己評価)<br>毎食後のうがいや歯磨きの声かけを行い、口腔内の清潔に努めている。また口腔ケアチェック表にも記入し、定期的な口腔内のチェックを行なっている。歯磨き拒否の方には、時間をずらしながらできるだけ行なってもらえるように支援しているが、十分とはいえない。必要時には、歯科への受診ができるよう体制を整えている。 | ※                          | 一日1回でも口腔ケアができるように、利用者様のペースや動きに合わせてのアプローチを行なっていく。   |
| 77   | 28   | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価)<br>利用者の食事や水分摂取状況・栄養のバランスの確保はできており記録をしているが、厳密な数値によるカロリー計算は行っていない。  | ※                          | 給食委員会を中心に、高齢者に適切な献立を検討したり、カロリー計算も行なっていきたい。栄養に関する専門的な指導を受けていきたい。                              |
|      |      |   | (外部評価)<br>食事の摂取量や水分量はその都度把握して記録に残している。一人ひとりの力量を活かした食事介助を行い、状態に合わせて刻み食にする等の支援をしている。献立の栄養バランスやカロリーのチェックは行われていない。   | ※                          | 栄養の偏りやカロリーの過不足を把握することが望まれるため、ホームで設置している給食委員会で検討したり、市担当者に相談して献立表の定期的チェックを行う方策について検討することを期待する。 |
| 78   |      | ○感染症予防<br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）       | (自己評価)<br>感染対策マニュアル及び感染別のマニュアルを作成し、感染者に対する対応の取り決め実行をしている。面会の方や職員など外部からの感染を防止するため、各階入口に消毒液を配置し呼びかけを行っている。掃除する時や衛生用品、食器用品、汚染物などは、毎日次亜塩酸ナトリウムやアルコールでの消毒を徹底している。   | ※                          | 職員全員が徹底した感染予防ができるよう、継続した指導を行っていきたい。  |
| 79   |      | ○食材の管理<br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている      | (自己評価)<br>毎日布巾やまな板等の消毒を行なっており、食品に関しては、使用する日付の記入をし早めに使用するなどの配慮をしている。給食委員会の職員を食品管理の主とし、冷蔵庫も定期的に掃除し食材の整理や除菌をしている。   |                            |  |

| 自己評価                           | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                         |
|--------------------------------|------|---|--|----------------------------|--|
| <b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> |      |   |  |                            |  |
| <b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>         |      |   |  |                            |  |
| 80                             |      | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている                              | (自己評価)<br>玄関周りに草花を植えたり、芝生のテラスにするなどの工夫を行なっているが、親しみやすいという点では十分ではないような気がする。   | ※                          | 玄関前にベンチを置くなどして、もっと開放的にし誰でも立ち寄せる雰囲気にしていきたい。                     |
| 81                             | 29   | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価)<br>物品や装飾や季節に応じた壁紙など、少しずつ取り揃えて努力はしている。音や光に関しては、生活しやすいよう配慮を行なっている。廊下は広いが、立ち止まって休憩するスペースがなく施設の廊下という雰囲気である。<br><br>(外部評価)<br>居間、食堂は明るくゆったりした雰囲気、見やすい時計やカレンダー、季節の花があり、利用者の作品や行事の写真を飾っていて居心地よく過ごせる空間となっている。その他の共用空間も不快な音等なく、清潔感がある。 | ※                          | 廊下や玄関などにソファとテーブルを配置して、誰でもくつろげる共有空間にしたいと思う。                     |
| 82                             |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                              | (自己評価)<br>フロアに畳の間があり、そこで利用者同士が話したり自由に過ごせるようになっているが、共有空間で一人で過ごすスペースはなく、一人になりたい利用者には居室で過ごすことが多い。   | ※                          | 一人になりたい利用者の空間確保として、廊下等にくつろぎのスペース（椅子やこじんまりとしたテーブルの配置や本棚）を確保したい。 |
| 83                             | 30   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | (自己評価)<br>馴染みの写真や自分で作った作品を飾ったり、ラジオやテレビを持ち込んでおられる。家具に関しては、ホーム据え置きタンスと電動ベットを利用されている利用者が多いが、使い慣れた家具やテレビを持ち込んでいる方もおられる。<br><br>(外部評価)<br>居室には洗面台が設置され、利用者の使い慣れた衣装ケース、時計、テレビ、シルバーカー、碁盤等が持ち込まれ、利用者の作品も飾っていて、居心地よく過ごせる部屋となっている。             | ※                          | 今後も在宅で使用していた家具の持ち込みを積極的にすすめていく。希望があれば、和室仕様の空間にもしたいと思う。         |

| 自己評価                    | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                |
|-------------------------|------|---|---|----------------------------|---|
| 84                      |      | ○換気・空調の配慮<br>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | (自己評価)<br>注意して換気を行なっているが、玄関やトイレなど時々臭いがすることがある。冷暖房の調節は、利用者に応じて調節を行なっている。   | ※                          | 一日数回の換気とトイレの掃除（汚れたら掃除）、汚物の廃棄を強化していく。今後も薄めたハイター等で頻回に拭き、脱臭剤の適宜交換を行っていく。 |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり |      |   |   |                            |   |
| 85                      |      | ○身体機能を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している         | (自己評価)<br>トイレや廊下に移動しやすいよう手すりを設置している。また手すりのない位置には、その人の状況に合わせ安全性を考えたタンスやベッド・椅子を配置し、伝え歩きやつかまりやすい環境にする工夫をしている。洗濯を干す時には、背が低い人や椅子に座ってでも干しやすいように、ハンガー等の物品選びにも配慮している。 |                            |   |
| 86                      |      | ○わかる力を活かした環境づくり<br>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している                   | (自己評価)<br>トイレ入り口に2色の床面の所があり、時々段差と間違えてしまう利用者がいる。大きな観葉植物などは、人や動物と誤認しやすいため設置はしていない。トイレにはトイレの表示、居室には名前を一人ずつ掲示している。また迷っているような行動がみられたら、さりげなく誘導している。                 |                            |   |
| 87                      |      | ○建物の外周リや空間の活用<br>建物の外周リやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている                            | (自己評価)<br>非常階段で日光浴や夕涼みを楽しむスペースがあり、よく外の空気を吸いに出られている利用者様もいる。しかしベランダに出て楽しむことはなく、洗濯物を干すだけになっており、環境はとても殺風景である。   | ※                          | ベランダに草花を配置したりしながら、少しでもベランダや外周リに出たいと思えるような環境面の整備をしていきたい。ベランダの掃除も徹底したい。 |

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

| V. サービスの成果に関する項目 |   |   |  |
|------------------|---|---|--|
| 項目               | 取り組みの成果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)                     | 判断した具体的根拠   |  |
| 88               | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                     | ① ほぼ全ての利用者の<br>② 利用者の2/3くらいの<br>③ 利用者の1/3くらいの<br>④ ほとんど掴んでいない<br>(自己評価) | 全職員が把握できておらず不十分である。月1回ケアカンファレンスなどで意見を出し合い、介護計画に取り入れているが意向が反映できていない部分もあるため、把握に努めていきたい。  |
| 89               | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                        | ① 毎日ある<br>② 数日に1回程度ある<br>③ たまにある<br>④ ほとんどない<br>(自己評価)                  | 一緒に行動すること、寄り添い見守りこと大切にしている。ゆっくりと会話をする時間をもったり、個人の楽しみ事など個別に時間を共有するようにしている。   |
| 90               | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                           | ① ほぼ全ての利用者が<br>② 利用者の2/3くらいが<br>③ 利用者の1/3くらいが<br>④ ほとんどいない<br>(自己評価)    | 1日の日課は、利用者様の意向ペースに合わせて支援しているが、全員が自宅で同じような生活ペースを維持できているとは言えない。食事時間のことで、苦情を言われる利用者様がいる。  |
| 91               | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                | ① ほぼ全ての利用者が<br>② 利用者の2/3くらいが<br>③ 利用者の1/3くらいが<br>④ ほとんどいない<br>(自己評価)    | 感情が不安定になりやすい方が多いが、個別に接することで落ち着きや笑顔が見られることも多い。  |
| 92               | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                          | ① ほぼ全ての利用者が<br>② 利用者の2/3くらいが<br>③ 利用者の1/3くらいが<br>④ ほとんどいない<br>(自己評価)    | 希望があればできるだけ好きな所に出かけるようにしているが、一部の利用者様にすぎず十分とは言えない。職員の人手不足の時期があり、希望があってもすぐに行けず待たせてしまったり、ホーム内で過ごされる利用者様が多いのが現状である。  |
| 93               | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                    | ① ほぼ全ての利用者が<br>② 利用者の2/3くらいが<br>③ 利用者の1/3くらいが<br>④ ほとんどいない<br>(自己評価)    | 毎日健康チェックなどを行い異常の早期発見や医療連携の改善に努めているが、経験の浅い職員が多く、利用者様とその家族様から「不安」という声を聴くことがある。また職員の方も重症化・終末期の対応に不安を持っている者も多い。  |
| 94               | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている         | ① ほぼ全ての利用者が<br>② 利用者の2/3くらいが<br>③ 利用者の1/3くらいが<br>④ ほとんどいない<br>(自己評価)    | 全体として捕らえるのではなく、個別に対応することによって柔軟な対応もできていると思っている。もっともっと関わって、その人を知っていかなければならないと感じる。安心できる生活が確保されて初めて、楽しさや笑顔が生まれ、活動や参加につながっていくと思う。まずは一人一人安心できる生活を目指して支援していきたい。 |
| 95               | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく | ① ほぼ全ての家族と<br>② 家族の2/3くらいと<br>③ 家族の1/3くらいと<br>④ ほとんどできていない<br>(自己評価)    | 面会に来られた時や定期的な家族との担当者会議で、不安なことや要望を聴くようにしている。ホームに来所できない方は定期的に家庭訪問をしたり、電話で状況を説明するなど、家族との関係が切れないようホームから歩み寄りするようにしている。どの家族様もホームに協力的で、助けていただく場面が多い。            |
| 96               | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                | ① ほぼ毎日のように<br>② 数日に1回程度<br>③ たまに<br>④ ほとんどない<br>(自己評価)                  | ボランティアや、馴染みのご友人などが面会に来られている。毎日来ていただく家族もあり、差し入れをいただいたりすることも多い。家族関係の面会や訪問は活発であるが、地域の人々の訪問は少ない。   |

| 項 目 |   | 取 り 組 み の 成 果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)                                     | 判断した具体的根拠  |
|-----|---|---|--|
| 97  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | ① 大いに増えている<br>(自己 2 少しずつ増えている<br>評価) 3 あまり増えていない<br>4 全くいない           | 行事など協力していただく方が増え、大変感謝している。地域密着ということについて相談もしやすい。貴重なご意見をいただいている。   |
| 98  | 職員は、生き活きと働けている  | (自己 1 ほぼ全ての職員が<br>評価) 2 職員の2/3くらいが<br>③ 職員の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない       | 相次ぐ離職者があり、様々な面で不安や不満も抱えていると感じる。しかしそんな中でも、利用者と向き合おうとする姿勢を持っており、よく頑張っている。もっと生き活きと働ける職場にしたいと、職員全員が思っている。その気持ちを大切にしたい。   |
| 99  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           | (自己 1 ほぼ全ての利用者が<br>評価) 2 利用者の2/3くらいが<br>③ 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない    | 満足という点では疑問である。入浴や外出など部分的に喜ばれることもあるが、生活全般において考えるとまだまだであると感じる。世話になっているからとの遠慮もあり、我慢をしている利用者様もいるのではないかと思う。   |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       | (自己 1 ほぼ全ての家族等が<br>評価) 2 家族等の2/3くらいが<br>③ 家族等の1/3くらいが<br>4 ほとんどできていない | 家族様がいつも協力していただき、ホーム側が助かることが多いと実感している。「大切な家族をしっかりと見てほしい、できることがあれば協力する」という気持ちがとても伝わってくる。ホーム側が、家族様の意向を満足できるほど実現できているかと言えば、十分ではないような気がする。遠慮せずに希望が言えるホームにしていきたいと思う。 |

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

職員の人手不足により、利用者様やご家族様に満足のいく支援ができなかった時期もありましたが、今後は安定した職員の確保を行い職員育成にも力を入れながら、皆様が安心して暮らせるホーム作りを目指して頑張っていきたいと思っております。  
一人一人に応じた個別ケアに重点をおき、地域住民の一人であるという視点からも、ホーム以外で活躍できる場を拡げていきたいと考えています。  
安心できる馴染みの関係や環境とはなんだろう？生きていく甲斐がある人生とはなんだろう？と常に利用者様の視点に立って原点に戻り、新たな蒼月をスタートしたいと思っております。